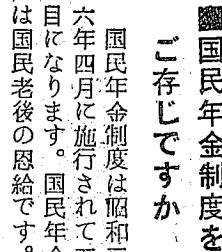


市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

人口動態

(4月1日現在)
世帯数 22,361 (-29)
総人口 104,447 (-796)
男 49,514 (-486)
女 54,853 (-310)
出生 246件 死亡 119件
転入 611 転出 1,459
婚姻 70 離婚 9



在勤め人は共済組合恩給加入する「義務」がありま
や厚生年金に加入し、毎月の月給から積み立てて将来
退職したり積立金(預約)四才までの人は月百円、三
で老後を送つて行きます。十五才から五十九才までの
あとに残された自営業の人、や農家の人は、老後の保証
がなかったため、国ではこのように人を対象に「国民年
金制度」を施行しました。

国民年金制度は昭和三十年四月に施行され、五年
目になります。国民年金とは、国民老後の恩給です。現
在のところは、国民年金制度に

国民年金制度を
ご存じですか



として保存しましょう。

新学期とともに、児童のいたましい交通事故があちこちで起きていますが、登校時、下校時は、児童の交通安全に欠かせない役目をしているのが婦人交通指導員です。児童を交通事故から守るだけでなく、一般人の信号無視や左側通行などの交通指導もしています。現在本市には、七名の婦人交通指導員しかおらず、希望者を募っています。ある交通指導員は、体が丈夫で家人達の協力がないと、とてもつとまりませんと語っていましたが、大きな社会問題である交通事故を起きないように本当に運転手も歩行者も充分注意したいものです。

5月から新保険証に

健康保険

昨年四月検認された国民健康保険の保険証は四月一日から白地に黄の市章を配したものにセピア色で印刷されます。切り替えは例年通り各区分を通じて四月二十日頃から行われますが、次のこととに注意し更新が円滑におこなわれるよう協力下さい。

新保険証は旧保険証と引換えに配付されます。目下医師などにあすかってあるものは、すみやかに手もとに戻しておいて下さい。

△新保険証は旧保険証に記載された内容と現在の家族構成に相違のある場合は、いますぐ市保険年金課(各支所連絡所)で訂正して下さい。

△旧保険証を紛失された場合は、その旨を区長に申し出て下さい。

△異動などに記載された内容と現在の家族構成に相違のある場合は、いますぐ市保険年金課(各支所連絡所)へおいで下さい。旧保険証は四月三十日で無効となります。

■ 東京オリンピック映画公開さる ↓

市民会館で12日から東京オリンピックの記録映画を市内の各小、中、高生に公開されたが、話題の映画だけあって日程もぎっしり決っており、昨年の東京オリンピックムードをおもわせていた。

新進工芸美術家の作品展 ↑

市教委主催で1日から3日間、第1回現代工芸美術が公民館で開かれた。これは会津に住む若い漆芸家5人と陶芸家2人の計17人で結成され、会場にはを使った壁面装飾画など40点が展示された。



体質改善へスタート

全国初の漆器
立地落成

会津特産の漆器メーカーの一ヵ所に集め、企業合同や能率的な共同生産、共同受託、共同販売などによつて、零細企業の体質改善をはかるうといふ、県下初の工場団地として注目されるいる会津漆器工場団地が四月六日落成しました。

落成式は午後一時から市内門田町一ノ堰の同団地に木村知事、横山市長、松平伊東両国會議員ら來賓、関係者など約五百人が出席してひらかれ、知事、市長が団地内の発電、送電スイッチを押して落成を祝いました。

市内の漆器業者は市街地

長い化学塗料の普及で火災の危険があつて、郊外疎開の必要が叫ばれ、三十六年に通産省の指導によつて単なる移転だけでなく、積極的な協業策として団地化が計画されました。敷き地は大画面されました。

川沿いの一ノ堰に約九万坪の土地が確保され、六十七業者が集まって、会津漆器工場団地協同組合(山田源次理事長)が結成され、三十八年、政府指定を受けました。

三カ年計画で建設が始まつた。三十八年度の第一期工事は約五千万円で土地取得、整地などの基礎工事。三十九年度は

幅六・五トルの引込み市道工事も立派に完成しました。三十八年に全国十一ヵ所中小企業団地に指定されましたが、三年たってもまた土地買収さえできぬ都市あるほどで、その順調な進行ぶりは通産省からも称賛を受けました。もちろん東北では団地化のトップを走り、しかも同種の漆器産業だけでの団地形成は全國も初のものです。

四月には十一企業の操業と同時に一億八千二百万円を投じて第三期工事にはいり、残る五十業者が各工場や共同メッキ工場、共同宿舎、給食施設などをつくり四十年度末に全体計画を完了する予定です。

この完成によって年間四十三億円の生産高を誇る会津漆器界が近代工程によつてさらに躍進し、全国でも一流の業界に生まれかわるものと関係方面から期待されています。

会津若松史
執筆者紹介

階層の人々の収入や衣・食・住のほかに年中行事や娯楽、葬祭、芸事、また天災地変や火災など、そうじだる武士や庶民の喜怒哀樂の姿など広い視野に立つて眺めることは容易なことではない。しかし、でき得る限り史料を蒐集し、今日の発展に寄与した祖先の生活を描くことに努めたいと思う。

春の演能大会

4月29日(木) 午前10時開会

<input type="checkbox"/> 日 時	4月29日(木) 午前10時開会
<input type="checkbox"/> 会 場	会津女子高校
<input type="checkbox"/> 会 内	1 素謡(熊野、鳥帽子折、藤戸) 2 仕舞(雲雀山、桜川、小歌、難波ほか) 3 能(草子洗、舞囃子、安宅、玉葛、小鍛冶)
<input type="checkbox"/> 主 催	会津能楽会
	<input type="checkbox"/> 入場無料 はきものは各自始末ねがいます。

